



Y M C A NEWS



神戸青年

No. 599

2010.1・2

Jan・Feb

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/水野 雄二 編集人/坂本 庸秀
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL.078-241-7201 FAX.078-241-7479
URL http://www.kobeymca.or.jp 印刷/わかばやし印刷



神戸YMCA 年間聖句 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。(ヨハネによる福音書 13:34)

皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



会長・理事長 武田 寿子



総主事 水野 雄二

神戸YMCAは、グランドデザイン「ゴール2011」に基づき、子どもと若者の「いのち」が光り輝くように守り育てること、そのために深く関わっていくことを使命として活動を続けています。目標とした2011年もあと1年となり、新年もその働きを強めたいと願っています。また、来る2011年は神戸YMCA創立125周年を迎え、過去を振り返り、未来を望む記念すべき年の準備を進めてまいります。

公益法人制度の改革が進められている中、財団法人神戸YMCAは全国のYMCAに先駆けて公益財団法人への申請を行いました。近く認定を受けることになりませんが、更に公益に資する具体的な取り組みを進め、その使命の実現のためにウエルネス、教育、福祉、国際の分野でより広く活動を展開し、地域社会に貢献したいと願っています。

2009年度神戸YMCA 新春YYフォーラム

～YMCA発!世の中を明るく元気にするプロジェクト!～
「世の中を明るく、そして元気にするためにYMCAは何ができるのか」というテーマでワイワイ語り合しましょう! アイデアは、ユース委員会やワイズメンズクラブでのプロジェクトとして活用していきたいと思ひます。
今回はステージでの発表も盛りだくさん!最初から最後まで楽しめる内容になっています。みなさまふるってご参加ください。

日時	2010年1月9日 13:00～18:00
会場	神戸YMCA三宮会館 (参加費無料)
主催	ワイズメンズクラブ六甲部 神戸YMCA
企画	YYフォーラム実行委員会 神戸YMCAユース委員会

プログラム内容(変更になる場合があります)
ユース委員会プロジェクト報告
フロストバレーYMCAキャンプ参加者報告
「地球市民育成プロジェクト」参加者報告
グループ討議&お楽しみ
ワイズメンズクラブ活動報告
クラブ・プログラム発表
(キッズダンス、クラブ幹事会、ボクシング etc)

<お申込み・お問い合わせ>
メール info@kobeymca.or.jp

この数年、神戸YMCAの働きも兵庫県や神戸市、西宮市など公共施設の運営に広がり、益々、地域に密着した働きが強められています。多くのボランティアの皆さんに支えられ、担われるYMCAとして、この新しい年も着実な歩みを進めたいです。

本年も皆様のご参加とご支援、またご指導をお願い申し上げます。

第12回 チャリティーラン

お礼とご報告



第12回神戸YMCAチャリティーランを2009年11月3日神戸市北区山田町、しあわせの村運動広場にて開催しました。1987年に東京ではじめられたチャリティーランが神戸でも始まりました。その12回目を迎えました。当日は肌寒い1日となりましたが、天候に恵まれ多くの方の笑顔と活気に満ちた大会となりました。小学生駅伝131チーム、グループプラン80チーム、駅伝31チーム、合計242チーム1000名のランナーの参加を得ました。また当日は多くのボランティアの皆様のお力添えを得ることができ、模擬店、ゲームコーナー、受付、競技運営、コーナー、管理などさまざまな役割を担っていただきました。登録いただいたボランティアの皆様は340名以上にのぼりました。「So the more」多くの皆様にそのことを実行いただいた1日となりました。このことを感謝いたします。また、当日頂きました参加費、売店等の売り上げによる収入につきましては、日本YMCA同盟を通じてYMCA CCP (Children's Challenge Project) のなかで障がい児・者のプロジェクトに使われるほか、神戸YMCAの障がい児のキャンプ・日常活動などのプログラムに活用されます。

皆様のお力添えに感謝いたします。また来年も神戸YMCAチャリティーランでお会いできることを楽しみにしております。

先日、ユースラザで行われた関西学院大学の井出教授の「次世代を育てる」セミナーに参加させてもらった。現代の子どもと同様、お母さん達も不安なんだということ。すぐかかっているのに、どうしていいかわからない。頭でわかっていても、まじで自分自身を思い起こした。その時、私は健常の姉と障害の弟の二児の母になり、10年間となく走り続け、ふと自信がなくなり選んできた選択に間違いがなかったか、置き去りにしてきたことはなかったらどうか等の考えの堂々巡りでした。そんな時、神戸女子学院の女子高生の一人が中学の新生に向けてメッセージを目にしたことがありました。「人類が誕生した昔から多くの人間が生まれ出た過去にも、これから先の未来に多くの人間が生まれてももう一度あなたは生かれない。現在にあなたは一人しかいない。過去にも未来にもたつた一つのあなたの命、あなただけに結ばせる実があるはず」この一人の少女の言葉で、「私は私でいいんだ、できることを一つずつやっていこう」と随分気持ちがお楽になったのを覚えておられます。「子どもと若者のいのちが光輝くように」これはYMCAの願いです。子どもだけでなく母親も輝けるように母がゆつたりと季節の風や変化を感じながら過ごす様にサポートできるようにしたいと思ひます。

(川崎 孝子)

第20回 チャリティーワインの会

11月13日

チャリティーワインの会は今回、記念すべき第20回を迎え、46名の方に参加いただきました。

チャリティーワインの会の歴史は「青少年指導者育成募金」支援のために、当時の健康志向と西暦2000年を祝うに相応しい飲み物としてワインを取り上げ、楽しみながら募金できる催しとして、1999年10月に第1回の「ワインを楽しむ会」を実施したのが始まりです。

第20回のテーマは「秋に美味しいワインと料理」、会場は神戸ポートピアホテル「レヴァンテ」にて開催いたしました。前回に引き続き、岡本博文チーフソムリエにワインを選んでいただき、渡辺祐治総料理長が厳選した食材で腕をふるってくださいました。美味しいワインとすばらしいお料理とのハーモニーを皆さん楽しんでいただき、恒例となったチャリティーオークションでは、実行委員の方の洒落たトークに大きな歓声と笑い声が飛び交っていました。チャリティーの趣旨をご理解いただいた皆様のおかげで、オークションの商品は完売いたしました。

チャリティーワインの会では一人でも多くの子どもたちを支援するために、収益の全額を「子ども奨学金」に



捧げています。2004年度に設置された「子ども奨学金」は、神戸YMCAが主催する青少年プログラムに経済的事由のために参加したくても参加できない18歳未満の青少年に対して支援をし、その心身の健やかな成長に資することを目的としています。ぜひ、多くの皆様にチャリティーの趣旨をご理解いただき、ご参加、ご協力を賜り、チャリティーワインの会は今後も継続していく次第です。

賀川豊彦献身100年記念コラム

～賀川と生協 - YMCA～

賀川は、アメリカ力留学後、困窮する労働者の生活安定を目指し、消費組合を創設することを目指しました。賀川がモデルとしたのは1844年にイギリスのロッチデーで生まれた生活協同組合でした。仲間とともに「神戸購買組合」や「灘購買組合」の創設に尽力し、庶民が良い品を適正な価格で購入できる仕組みを作りました。この二つの購買組合は、現在の「コープこうべ」につながり、愛と協同の精神を基により良い社会づくりを目指しています。同じく1844年にイギリスロンドンで誕生したYMCAですが、昨年度より神戸YMCAとコープこうべの協働事業が始まっています。



神戸消費組合の建物(昭和23年)

す。賀川献身100年を迎え、つなぐを深めた二つの団体は次の100年へと歩んでいきます。

神戸YMCA早天礼拝 (Kobe YMCA Sunday Chapel)

神戸YMCAでは9月から「神戸YMCA早天礼拝」を始めました。毎週日曜日の朝8時10分～8時40分、三宮会館1階チャペルで、近隣教会の聖職者の方々に説教者としてお越しいただき、礼拝をさせていただきます。(この場を借りて、礼拝準備にお忙しい中、ご協力くださっている説教者の方々、ならびに説教者を遣わしてください。感謝申し上げます。)



ご意見を頂戴しつつ、神戸YMCA Aユース委員の古澤啓太先生(日本基督教団神戸東部教会)にご助言をいただきながらスタートしました。



この早天礼拝をささげる中で、教会に関心を持たれた希望者には、教会のご紹介をいたします。教職員、会員、野外活動リーダーが主な対象ですが、どなたでも出席できます。自由にご出席ください。お問い合わせは神戸YMCA本部事務局(078-241-7201)まで。

感謝

【第20回 チャリティーワインの会】

11月13日
ポートピアホテル
「レヴァンテ」
参加者46名
収益 39,494円

【寄付金】

- 武田 寿子、中條 道雄
- 下村 俊子、清水 泰人
- 富川 和彦、濱 浩一
- 赤木 文生、陳 澤

(敬称略・順不同)

Yes! キャンペーン in 神戸

- 核兵器のない世界をめざして

11/28、神戸栄光教会に約160名が集まり「Yes! キャンペーン in 神戸」(担当: ミッション委員会)が行なわれました。

最初に田中稔子さんから、小学1年で被爆した当時の体験と、64年目にして証言を決意されたお話を伺い、続いて

広島の子もたち31名による音楽劇「IPRAY」(構成・演出: 木原世宥子さん)が上演されました。元気がかけまわる子どもたちの情景が、原爆により一瞬で



音楽劇「IPRAY」の場面

すべてが破壊される展開に、聴衆一同は思わず息をのみ、胸が熱くなり、涙があふれました。場面転換では、宮田乃梨子さんが「アヴェ・マリア」と「主の祈り」を独唱されました。



スティーブン・リーパー氏

続いてスティーブン・リーパーさん(広島平和文化センター理事長)の講演「今逃してはならない、平和へのチャンス」がありました。10年かけて確実に核兵器を減らし廃絶を約束する「ヒロシマ・ナガサキ議定書」が、2010年5月に国連で採択されようとしていること、この機会を逃すと一気に多くの核保有国が生

30から3日間、田中稔子さんと共に大塚章信さんと中村和光主事が、県下17市役所を訪問し、神戸市長、姫路市長、芦屋市長をはじめとする賛同署名をいただくことができました。

まれ收拾がつかなくなることを、唯一の被爆国である日本の私たちが、今声を上げることが大切であることを熱く語られました。なお「ヒロシマ・ナガサキ議定書」への賛同署名を要請するために11/

第40回全国YMCAリーダー研修会

『メンバーズファーストって何!?』誰のため? 何のため? 余島と一緒に探そうや!!

11/21、23、全国リーダー研修会(主管: 神戸YMCA)が余島で開催され、全国22YMCAから88名のリーダーが参加しました。

「メンバーズファースト」は、神戸YMCAではお馴染みの言葉だけど、全国の仲間はどうなんだろう? 全国のYMCAの仲間と同じ思いで繋がってきたい。そんな思いを込めてテーマを設定し、また「安全」について学びを深め、どのようにメンバーへ返していくかを語り合いました。

1日目、高見彰氏(運営委員長・ウエルネス事業委員)の基調講演『メンバーズファーストとリスクマネージメントを考える』が、研修全体の足がかりとなりました。2日目はグループ討議で各々が学ん

だことについて語り合いました。最終日のグループ発表は、自由で熱い思いのこもった決意表明の場となり、記録担当の実行委員リーダーが、発表に感動して涙を流しながらビデオ撮影していた姿が印象に残っています。参加者それぞれの考え方や感じ方は違いましたが、メンバーのことを思い、メンバーのために何かがしたい!と熱く語る姿は、YMCAが熱い思いを持った若者に支えられていることを実感できる瞬間でした。心が揺さぶられた体験は、いつまでも参加者の記憶に残ることでしょう。最終日の朝、参加者全員が手を繋いでエンジェルロードから眺めた朝日は、これから全国で活躍するリーダーたちの門出を祝福してくれているようでした。余島は「人と出会い、神と交わり、愛の火の、燃えるところ」。神様によって集められ、またそれぞれのYMCAに戻っていった若いいのちが輝きを強めることを心よりお祈りしています。

(運営事務局 藤田良祐)



シリーズ「くせいのまじ」

神戸YMCAボランティアユースリーダーの正嶋英理子(大学2年生)さんから日々の活動を通してのメッセージをお届けします。正嶋さんは、第25回タイワークキャンプに参加後、余島キャンプリーダーとして活躍、今年度は日本YMCA同盟「地球市民(Global Citizenship)育成プロジェクト」研修生でもあります。

タイワークキャンプでの経験は私の大学生活を送る上でとても重要な出来事でした。このキャンプに参加しようと思ったきっかけは、高校3年生の頃、一度アジアに行ってみたという思いからでした。現地では4カ国のユースが集まっているので、文化や考え方がまるで違います。異文化の面白さを知ると同時に、実際の交流を通して「国際協力って難しい」と漠然と感じました。また同時に、子どもや各国の参加者の前で歌やゲームを披露して場を盛り上げる時には一生懸命作業している先輩のリーダーたちが憧れ惹かれていた自分がいきました。

その後大学に入り余島リーダーになりました。「人」と共に生きることが考えさせられます。リーダー同士はもちろん、子どもであってもひとりひとりの人間。真剣に向き合ったり、怒ったり、悲しかったり、嬉しかったりします。そんな時、少

しの思いやりや報道相が大切なと感じます。そしてGlobal Citizenshipの参加はさらなる成長と刺激を与えてくれました。日本全国からの参加者、そして、中国、香港からの参加者と一緒に国際問題について真剣に考えました。印象に残っているのは靖国神社を訪問して互いに意見を言い合ったことです。問題を現実的に捉え、いかに解決できるかと考えることは国際協力の一歩だと思いました。

私はこれまでの様々な経験を多くの人に伝えていきたいです。それは経験した人の役目であると思うからです。このような活動ができていいるのは、家族や友人、そして、YMCAの方々、私の方には支えられていることを改めて実感しています。良い環境に恵まれていいるだけに終わらせず、経験を生かして次の糧にしていきます。今後、もつと多くのリーダーや同世代の仲間がこのよう

な素晴らしい機会を経験できることを願っています。

地球市民育成プロジェクト研修



地球市民育成プロジェクト研修

ウエルネスセンター三宮	078(241)7202
YMCAホームヘルパーの事務所	078(241)7237
ランゲージセンター	078(241)7204
専門学校	078(241)7203
西宮YMCA	0798(35)5987
三田センター	079(559)0075
余島野外活動センター	0879(62)2241
国際・奉仕センター	078(241)7204



ウエルネスセンター学園都市	078(793)7401
西神戸YMCA	078(793)7402
西神南センター	078(993)1560
須磨YMCA	078(734)0183
YMCA保育園	078(794)3901
西宮YMCA保育園	0798(35)5992
YMCAちとせ幼稚園	078(732)3542
西神戸YMCA幼稚園	078(997)7705

池上 正さん(現ジェフユナイテツド市原・千葉コーチ。元大阪YMCAスタッフ)をお招きしての講演会「子どもの育ちをぐんぐん伸ばす11の魔法」(11/15 兵庫県立文化体育館)に、会員・幼稚園・保育園の保護者、地域のスポーツ指導者、ユースボランティアアリーダーなど約90名が参加しました。

「子どもの育ち」をテーマに、ジェフ市原やYMCA、ご自身の子育ての経験や話を交えながら、身近に感じられるお話で、私たち大人が、子どもたちを取り除いたり、子どもたちがお互いを育み合ったり、子どもたちが成長する機会を取り上げていく、という愛情を注ぎ、守り育てることを信じていく、という姿勢に共感し、また反省を促され、地域の子どもたちにも歩む」といっそう強く思いました。

講演会報告

クリスマスカードコンテスト 結果発表

87点の応募作品が集まり、どれも個性あふれるすてきな作品でした。

2009年12月16日～12月25日の期間、神戸YMCAウエルネス三宮1階にて掲示されました。左記のみなさんが入賞されました。

優 秀 賞 (幼児の部)	山 杉
(小学生の部)	野 田
優 秀 賞 (小学生の部)	宿 知
(小学生の部)	希 代
Y M C A 賞	望 東
メ ネット賞	石 濱
ワイズメンズクラブ賞	久 石
	津 辻
	島 永
	啓 希
	人 未
	拓 理
	未 未
	子 巧
	哉 哉



幼児の部 最優秀賞



小学生の部 最優秀賞

神戸YMCAサポートプログラム 指導者トレーニング(11/1)

中尾繁樹さん(関西国際大学教育学部准教授)をお招きし、「感覚・運動機能面を中心とした支援の実際」というテーマで、子どもたちの体の動かし方に焦点をあてた研修を実施しました。『40人学級で支援の必要な生徒は40人です。基本的には全員に支援が必要なのです。』との言葉で研修が始まり、生活環境によって子どもたちの体の動かし方に変化が起こっており、そのような子どもたちに対する指導法について、講義と体を動かす実習を含め、実り多い学びの時となりました。

Photo Topics

11/15

第23回 中西日本YMCAジュニア体操発表会・競技会

奈良・大阪・広島・北九州・神戸の5YMCAが参加、ウエルネス三宮で開催されました。発表会の部は5歳児から小学生まで、競技会の部は小学生から中学生までが出演し、この大会に向けて一生懸命に練習してきた技や演技の成果が発揮されました。



11/29

第9回 YMCA世代間交流水泳大会

会場の京都YMCAに集まった170名の年齢は4歳から81歳まで。レース以外にも、1チーム12名で競う「3ちゃんビート板リレー」や勝ち抜きじゃんけんなど、年齢も所属YMCAも超えて交流を深め、充実した時間を過ごしました。

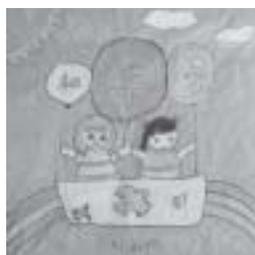


第7回平和のための子ども巡回絵画展

〔開催日時・場所〕

ユースプラザKOBE・EAST	: 2010年1月28日	～ 2月4日
兵庫県立文化体育館	: 2010年2月6日	～ 2月14日
神戸YMCA(三宮会館)	: 2010年2月16日	～ 2月23日

各国の子どもたちが平和を願って描いた作品が互いの国を巡回するこの絵画展は、天津・釜山・神戸の3都市が参加して始まりましたが、7回目を迎える現在はセントルイス・チェンマイを加えた5都市になっています。各国の子どもたちの平和のイメージを感じてください。



個人消息

- ご結婚** おめでとうございます
12/1 関博さん(カレッジ)陳以根さんと
- お誕生** おめでとうございます
12/1 楯みのりさん(元ホームヘルパーの事務所)ご長女まなみちゃん
- ご逝去** 謹んでお悔やみ申し上げます
8/22 舛永知子さん(三宮ランチ)ご祖父様
11/2 小林真由美さん(ホームヘルパーの事務所)ご主人様
11/9 位田香里さん(ウエルネスセンター学園都市)ご祖母様
- 退職** おつかれさまでした
11月末 楯みのりさん(ホームヘルパーの事務所)
11月末 中島普さん(余島センター)
12月末 杉浦宏季さん(三宮ランチ)